

拔萃

獨逸鐵鋼業の近況(承前)

其一〇 (The Iron & Coal Trades Review, June 20, 1919)

鐵 鋼

K O 生

ジールランド鐵鑛企業組合は目下其地方に於ける凡ての生産物に就き一致協力して今後二年間に之を再興すべきことを期せりと云ふ。休戦後に於て瑞典より鐵鑛を載積したる最初の汽船ハンブルク港に到着せり。此事實に據れば聯合國は既に瑞典との滿俺鑛輸入に關する協定を修正せるものと推測せらるゝなり。

獨逸ルクセンブルグ鑛山のデツフアルデンゲン工作所及び閉鎖せられたる米國企業組合なるボエシア鐵工會社の租借經營に關しては佛國並に白耳義共同事業に於て之を繼承するとなれり。該工作所は熔鑛爐一〇基、變壓器五個、銑鐵混合機三個及び壓延工場等を包含せる鋼工場より成立せり。ローレン製鐵所及びニルザインゲン鑛山組合はノイテンゲン並にフェンチ鐵工所に於けるか如くローレン及びブリッ流域の會社所屬の鐵鑛山賣却の協議をなせり。英國及び米國の共同事業より成れる萬國組合は之か繼承を計畫せりと傳へらる。

休戦の初めローレンに於て操業せる熔鑛爐數は六八基なりしか、四月中旬骸炭供給不足の爲め二六基減少せり、五月に於ては稍恢復したれとも尙一二基の爐を減少せり、骸炭はライン左岸並に白耳義より供給せり。骸炭缺乏問題の爲め目下ハーデンゲンに於けるタイセン工作所、ロムバッハに於け

るロムバツハ鐵工所並にノイテンゲンに於けるアウマツツ、フライド工作所等は閉鎖せり。
 和蘭に於ける鋼棒業は米國と競争の壓迫に因りて大に妨止せられたり、即ち一噸二〇〇フロリ
 ンス以下なりと云ふ。内國市場に於て公平なる輿論は仲買人の態度を難するに在り、仲買人は迅速運
 搬にて棒板等の價格を甚た高價に要望せるか故なり。

銑鐵企業組合の會員は最近骸炭相場の騰貴に一致して鐵價值上問題に關し本週中會議を開かんとせり、之に反してルクセンブルグ銑鐵相場は、白耳義に於て二五〇乃至二五五法なるものに對して二四〇法に下落せり。

會社近信

過去二箇年に於ける各會社の財政狀態は次表の如し。

會社名	純益		普通株に於ける配當歩合	
	一九一七年	一九一八年	一九一七年	一九一八年
ドンネルスマルク熔鑛所	二五二、〇〇〇 ^磅	一三一、〇〇〇 ^磅	三三%	一二%
ヘラム、ツエウオッチ	二四、〇〇〇	一〇、〇〇〇	—	—
シレンジア製鐵所	—	—	二	一四
伯林兵器製造所	六四八、〇〇〇	五四八、〇〇〇	三〇	三〇
ボンメラニアン鑄造所	一七、〇〇〇	一三、〇〇〇	一五	一二
メイヤー鐵工所	—	—	一二	六
デユーレン金屬工作所	一二〇、〇〇〇	三九、〇〇〇	二五	一五
機械工具製作所	二〇、〇〇〇	一九、〇〇〇	一五	一五
ウエストフアリア鍍金工作所	二八、〇〇〇	二九、〇〇〇	二五	二五

ブツカウ機械工作所	五四,〇〇〇	四一,〇〇〇	一一	一〇
獨逸鑄鋼機械工作所	一〇七,〇〇〇	七九,〇〇〇	二五	一五
伯林唧筒工作所	一三,〇〇〇	二,五〇〇	一二・五	
上部シレジア鐵工所	二五〇,〇〇〇	二五一,〇〇〇	一四	一四
ラウファツハ鐵工會社	八,〇〇〇	六,〇〇〇	一〇	一〇
獨逸機械工作所	二二九,〇〇〇	一〇三,〇〇〇	一〇	一〇
ジュリアス、ピンチ會社	一三四,〇〇〇	九四,〇〇〇	一〇	一〇
マンハイム機械工作所	五二,〇〇〇	五一,〇〇〇	一〇	一〇
セレス機械工作所	九,〇〇〇	六,〇〇〇	八	五
ヴェンツキー機械會社	三〇,〇〇〇	二八,〇〇〇	一〇	一〇

其一一 (The Iron & Coal Trades Review, June 27, 1919)

鐵 鋼

ブラツセルよりの報告に據れば、白耳義、佛蘭西及ヒルクセンブルグ等の共同事業の下に鐵鑛同盟組成せられたりと。

銑鐵企業組合代表者は六月十七日エツセンに於て七月一日より施行せらるゝ價格問題に就て商議せしか、未だ政治的狀態の不安定なるを以つて一時的の決定をなすことを中止せり。一方に於ては六月中旬より骸炭の騰貴に伴ひて鐵價を又引上たり。鑄物屑鐵は企業組合に管理せられ一噸二六〇馬克なるを二〇馬克引上たり。鋼企業組合會員並に棒其他壓延生産業者も價格問題を商議せんか爲め同日會合せり併し銑鐵企業組合の會議に於けるか如き理由に據りて決議は延期することゝなれり。此時に當り材料の缺乏に因りて作業上及び商人側等より餘儀なく價格を引上げざるへからざる

44 に到れり、假令は鹽基性棒の價格は八〇〇馬克、四〇〇磅以上、オープン、ハース棒は一二〇〇馬克、六〇磅以上、薄板は一、五〇〇馬克、七五磅以上を唱へらるゝなり。

獨逸新聞は痛論して曰はく、對敵行爲中、世界鐵鋼生産の額位置は米國、英國、佛國及ひ獨逸等の如く順序を全く轉換せられたり、而して敗戰の結果悲惨なるものなるに加へて革命の動亂等の爲めに獨逸は鐵鋼業の進歩に對して豫期せざりし状態迄損害を被れり。若し一九一九年に於ける年初三ヶ月の統計數字が標準なりとせば之を戰前と對照する時は左の如しと。

銑 鐵

鋼 鐵

一九一三年	一九二九七、〇〇〇 <small>噸</small>	一九〇〇〇、〇〇〇 <small>噸</small>
一九一九年(豫想)	約 六、〇〇〇、〇〇〇	約 六、五〇〇、〇〇〇

ソーリングンに於ける英國陸軍委員は近來ソーリングン鋼工場職工俸給値上運動に關聯して仲裁々判所員として活動せんことを要望せられたり、職工側の二五〇%の要求に對して資本家は二二〇%支拂を主張せり。陸軍委員は雙方の便益を圖りて結局二三〇%増加の判決を與へたり。獨逸及ひ瑞西間に於ける新輸出協定の本文は既に公布せられたり。瑞西は食料生産物輸送の歸還に於てルール石炭五〇、〇〇〇噸及ひ煉炭一二、〇〇〇噸並に可成的多量の鐵鋼、ポツタース鹽、鹽基性食品等を輸入する條件なりと云ふ。

會社近信

過去二箇年に於ける各會社の財政狀態は左の如し。

會社名	純益	普通株に於ける配當歩合
海軍製鐵所	一九一七年 二四、〇〇〇 <small>磅</small> 一九一八年 二四、〇〇〇 <small>磅</small>	一九一七年 一〇% 一九一八年 一〇%

コンコールド製鐵所	四七、〇〇〇	三四、〇〇〇	一〇	八
ニーダーショーンワイデー製鐵所	三二、〇〇〇	一二、〇〇〇	一八	一二
メーヤー鐵工所	一五、〇〇〇	四、〇〇〇	一二	六
オールドエンブルグ荷車製作所	二六〇	六、〇〇〇	—	六
炭素爆藥製作所	二九、〇〇〇	二一、〇〇〇	一七	一二
獨逸製銅所	二一、〇〇〇	一三、〇〇〇	一四	一〇
ダイナマイト會社	三八六、〇〇〇	二八九、〇〇〇	二〇	一五

其一二 (The Iron & Coal Trades Review, July 4, 1919)

鐵 鋼

將來瑞典に於ける鐵鑛を獨逸銑鐵業者に供給することに關しては既に報告せし所なり。該協定は近き將來に於て決定せらるへし。又獨逸否占領地帯に於ける作業に對して近來ローレン及ヒルクセンプルグ鑛石の供給が著しく増加せり。鐵鑛一噸の價格は七〇乃至八〇法なり。

石炭及ヒ骸炭價格騰貴の結果、エツセン銑鐵企業組合は獨逸に於ける銑鐵價格を左の如く騰貴せり、即ちヘマタイトを一一、五〇馬克、獨逸一號及ヒ三號鑄物用銑を一四、五〇馬克、ジールランド銑を一一、五〇馬克及ヒルクセンプルグ鑄物用銑を一三馬克等の如し。之に反して白耳義及ヒ北部佛蘭西に於ては多數の需要者は殆ど操業を中止せる状態なるを以て消費額は大に減少せり。従て價格も一噸二五〇乃至二六〇法なりしものか、二三〇法に下落せり。

ゲルシエンキルヘン鑛業並製鐵會社は近來鋼企業組合より撤退の通告をなせり。これは政治的事情に因ると雖も資産買取の結果なり。ルクセンプルグに於ける該會社の資産並にアイクス、レーケーペレのロードエアデー工作所に關して後者は既にブルバツハ、アイヒ、デューリンゲン會社の領

46 有に歸せり。此引渡の結果、該會社の所有權は唯炭坑、熔鑛爐、シヤルケーヴァエライン鑄造所、デュツセルドルフ管工場並にハウセンに於ける板壓延工場等のみなり、されは鋼企業組合員として利益の餘地なきものなり。又現在の假協定の滿期に際してロムバツハ鐵工所、ローレン鑛山並製鐵會社及ヒアルサスに於けるハーゲンデンゲン獨逸皇帝製鐵所等も鋼企業組合より撤退すへしと豫測せらるゝなり。されは鋼企業組合は全然瓦解せるものと云ふへし、併し鋼團體との聯絡上半成鋼、シエープス及ヒ鐵道材料等に對して假三企業組合の成立を見るに至るへし。此場合に於て三企業組合は往時鋼企業組合の組成せられし當時流行の形式を復活するものなるへし。

最近の情報に依れば獨逸ルクセンブルグ鑛業並製鐵會社は其資産賣却を提議せり、是に依てルクセンブルグ、ルーメラングン及ヒセント、イングバルトに於ける會社の凡てを管理せるマリオン製鐵所は其讓與を承諾せり、後者は又ウエストフアリア炭坑及ヒローレンに於ける鑛山をも所有せり。プロシアに於ては會計年度に際して鐵道豫算編成の爲めに、國民議會を召集せり、バゲット委員の編成せるプロシア及ヒヘッセン間、今年度鐵道工事費は四、三〇〇、〇〇〇馬克、二一五、〇〇〇、〇〇磅の不足を告ぐるに至るへしと測定せられ、緊急工事豫備費として總計九〇、〇〇〇、〇〇〇磅計上せられたり、莫大なる物價騰貴に就て假令はロコモチーブか以前は七〇、〇〇〇馬克なりしに目下四〇〇、〇〇〇馬克なり。

鋼企業組合並に棒組合はデヨイスト及ヒ棒の輸出價格を製造業者に於て一噸に付左の如く決定せり。

瑞西に對して五〇〇乃至六〇〇法、丁抹、瑞典並に諾威等に對して三五〇乃至四二〇クロイネン、又和蘭に對して二二〇乃至二二五フロリーンス等なり。内國市場に於て製造業者並に商人は此輸出價格に拘泥せざるなり、之畢竟内國市場を或範圍迄保護せんか爲なり。商人は價格を一噸に付左の如く

提出すへしと云ふ。五耗以下の薄板を組合價格の四〇磅なるに對して九〇乃至一〇〇磅、平爐鋼棒の三七、一〇磅なるに對して五五乃至六〇磅及びフープスの三〇磅なるに對して四五磅等の如し。

經濟上より見たるブリテツシユ、コロンビアに於ける電氣製鐵の成否に就て (承前)

K M 生

八 爐の型式

一、瑞典に於て用ゐらるゝエレクトロメタル爐 (Electro-Metals Furnace)。本爐は屢叙述せる處なり、假令はスタンスフィールド博士の一九一四年出版著書 "The Electric Furnace" の一七四頁より二一一頁迄にありて讀者の多くは既に熟知せらるへし。本爐は普通の小製鐵熔鑛爐のスタックに全く同形なる爐胴と大なる直徑の比較的淺き爐床より成り、後者は輪狀のアーチにて覆はれ之を通して電極を設置せらる。爐の排出瓦斯は爐床の天井と下降するチャージの間に羽口を通して再び爐中に循環せられ以て天井を冷却し且つ爐胴中のチャージを豫熱する用をなす。瑞典 (Hagfors) に於て多量に生産せらるゝ銑鐵の標準的分析は左の如し。

平 爐 用 ランカシャー處理用 ベセマー用

硅 素 〇、四乃至〇、六% 〇、二乃至〇、三% 一、〇乃至一、四%

滿 俺 〇、三乃至〇、五 〇、二乃至〇、三 二、五乃至三、〇

磷 〇、〇一一乃至〇、〇一八 〇、〇一一乃至〇、〇一八 〇、〇一五乃至〇、〇一九

硫 黄 〇、〇一五 〇、〇一五乃至〇、〇二〇 〇、〇〇五